

NHKスペシャル

シリーズ マネー・ワールドⅢ 資本主義の未来

爆笑問題と共に、最前線の「マネーの秘密」に迫る経済エンターテインメント・シリーズ第3弾「マネー・ワールド」では、混迷し、激動する世界経済の最前線を追い、“資本主義250年のモノサシ”に照らしながら、問題の本質を浮かび上がらせていく。資本主義の大きな分岐点を前に、私たちはどのような未来を選び取るのか。番組では3回シリーズでその答えに迫る。

【番組ナビゲーター】爆笑問題

◆第1集 お金が消える！？ ～貨幣消滅の未来～

10月6日(土) 午後9:00～9:49 総合テレビ

初回は、世界中から現金が消えていくキャッシュレス化の“深層”に切り込む。ポイントカードやモバイル決済、仮想通貨などの拡大。いま私たちの暮らしから、どんどん現金が姿を消している。スウェーデンでは、街中からATMが撤去され、現金流通量の割合は1%台にまで激減。その理由は単に「便利だから」だけではなく、現在の貨幣の“限界”も指摘されている。世界経済の血流を生み出してきた「現金」はこのまま消えてしまうのか？そして未来のお金の姿とは？

◆第2集 仕事が無くなる！？ ～機械VS人間～

10月7日(日) 午後9:00～9:49 総合テレビ

AIやロボットが、これまで人間が行っていた仕事を担うようになり、私たちは富を生み出せなくなる、当然収入も減る…。そんな時代が、もう目の前に来ている。ラスベガスでは、カジノホテルの従業員たちがAIロボットに仕事を奪われることを危惧し、大規模なデモを展開。その激しいうねりは、ロボット大国・日本にも押し寄せている。大手銀行が昨年発表した大がかりなAI導入と従業員削減のニュースは、日本中の金融関係者に衝撃を与えた。AIロボットが幅を利かせる近い未来、私たち人間は、どのようにして生き抜いていけるのか？知恵を振り絞って考える。

◆第3集 借金が帳消しに！？ ～経済の毒か薬か～

10月14日(日) 午後9:00～9:49 総合テレビ

借金が「帳消し」にされる、そんなにわかには信じがたい話がいま世界各地で起きている。韓国では、100万円以下の借金を10年以上借り続ける人々を対象に全額を帳消しにする「徳政令」を実施した。背景にあるのは深刻な多重債務者の問題。特に若者は失業率が過去最高となり、そうした人材を借金から解放して「市場に戻す」ことを目的としている。「借りた金を返すのは当たり前」。今回の番組を見ればそんな常識さえ覆すほど、資本主義の見方が大きく変わるかもしれない。

※タイトルはすべて仮